

三保半島まち並みミーティング

第3回(三保・折戸地区)

1.開催日時

平成27年2月27日(金)、午後3時～5時

2.開催場所

三保生涯学習交流館 2階 講義室

3.出席者

市民 三保街道沿道の住民・事業者等(8名)
コーディネーター 川口宗敏氏 静岡文化芸術大学名誉教授
アドバイザー 天野光一氏 日本大学理工学部まちづくり工学科教授
事務局 静岡市 建築総務課 3名
静岡市 関係課 4名(道路計画課、道路保全課)
(株)創建 3名

4.次第

- (1)あいさつ
- (2)資料説明(目的、ガイドライン内容、市民・観光客意識調査結果 等)
- (3)意見交換
- (4)あいさつ

5.議事録

- (1)あいさつ

事務局 (あいさつ)

- (2)資料説明

事務局 (配布資料を用いて説明)

- (3)意見交換

川口氏(コーディネーター) 三保半島の景観やガイドラインの内容等について、ご意見やご質問はありますか。
事務局 ガイドラインの策定を契機に、今後街並みのルールを作っていくことを考えています。街並みのルールを作ることについてもご意見を頂きたいと思います。

市民 三保半島の住民は、世界遺産とはどんなものか、富士山と三保松原の関係性、景観を良くすることの意味など、基本的なことを知らない人も多いと感じます。三保松原で観光ボランティアをしていますが、元々三保松原は、外部の人が極楽浄

土と表現した、聖地だったということです。今景観を考えるにあたっては、住んでいる人がどう浄土の美しさを作っていくかが大切だと感じます。自分も住んでいて心地よく、お客さんにも見てもらう、という意識のまちづくりをしてはどうでしょうか。街並みのルールづくりは、時間がかかるとは思います、住民が主体となって進めていくべきことだと思います。

川口氏(コーディネーター) 世界文化遺産の構成資産に選ばれたといっても、外部から世界遺産について勉強している人もいれば、住民でも関心の低い人がいるなど、意識に差があるということですね。ガイドラインを作るにしても、関心がある人は地域住民向けのワークショップ等に参加してくれるけれども、関心のない人も大勢いる。そのような人にも関心を持ってもらえるよう、ルールづくりと同時に住民の意識づくりもしていければよいと感じます。

市民 ガイドラインに書いてある街並みの将来像は素晴らしく、説得力があると感じます。ただ、ガイドラインの対象は考える必要があるのではないのでしょうか。三保半島の中でも実際には、釜ヶ崎の先端か松原を抜けて海岸まで行かなければ富士山全体は見えません。世界遺産に選定されたことで観光客が増加すれば、三保街道だけでは飽和してしまう恐れがありますが、羽衣海岸線ができれば少し状況は緩和されると思います。また、既存の道路をどう整備するかも重要です。三保街道は特に歩道が整備されておらず、散策できるような状況ではないため、人や自転車をもっと気持ちよく歩けるような道路にしてほしいと思います。また、街路樹が少ない状況ですが、夏の日差しが強い時期などは木があったほうがよいのではないのでしょうか。ガイドラインを現在の対象範囲で実現するだけでも大変ですが、いずれは名勝地全体を対象としてほしいと思います。

川口氏(コーディネーター) 将来的にはもっと対象を広くしたほうがよいということを感じています。また、日常生活のためには歩道の整備、街路樹の整備も不可欠だと感じます。

市民 地元の住民にとっても、三保松原を時々見に行きたいと思える道、景観にしたいと思います。

市民 他の世界遺産の地では、散策できるように歩道を整備しているところが多くあります。ガイドラインとは目的が違う話になってしましますが、遊歩道など歩いて楽しむように地域を整備することも必要だと思います。

市民 世界遺産の価値について住民が理解する必要はあると思います。世界遺産に決まった当初は、生活道路に観光客が入ってきて飽和してしまい、通行に支障がでることもありました。ガイドラインを策定することは良いと思いますが、ある程度強制力を持たせなければ意味がないと思います。景観を良くするために、電線・電柱の撤去のほか、建築物と広告物にルールを設けるのは効果的だと思います。例えば地区で色を統一するなど、住民にとっても取り組みやすいように工夫ができないでしょうか。現状でも派手な色の看板があり、広告効果としては良いが、目立ってしまっています。住民個人に負担となる部分もありますが、景観を良くする価値を理解し、協力してもらう必要があると思います。

川口氏(コーディネーター) ガイドラインなど、昨今では行政主導ではなく住民に相談して決めていくようになっています。行政としても、地元に着目して作っていきたいと考えていますので、今

日この場でも皆さんが実際どのように考えているのか、賛成・反対など忌憚のないご意見をいただければと思います。例えば看板を取るにしても、街並みづくりの良さを納得できなければ協力してもらえません。世界遺産の意味や価値を皆さんで学んでいくことは大切だと思います。

市民 地元にとって、観光客にとっての世界遺産の価値は少し違う部分もあると思います。建築物など、常時あるものに対してはガイドラインで色彩や壁面後退の規制をかけることは必要だと思います。

市民 参道の先に御穂神社の鳥居がありますが、参道からは富士山は見え、観光客も松原にしか行きません。参道を拡幅したり規制をかけたりするよりも、遊歩道の整備などに予算を使ったほうが良いと思います。現在の遊歩道は天気が悪いと足場が悪くなってしまいます。行政も地元の住民も、実際に現地を歩いてどこをどうしていったらいいか考え、アイデアを出し合っていけたらいいと思います。

市民 世界遺産に登録されても、潤っているのは松原や羽衣の松周辺だけで、灯台まで行く観光客はいません。また、現在でも天気が悪いと三保松原から富士山が見えず、観光客ががっかりするという声も聞きます。富士山そのものがなくても、楽しめる施設や見どころなど、半島全体の観光をもっと考えていく必要があると思います。

市民 ガイドラインにある程度強制力は必要だと思います。色々な立場からの意見や要望を聞いていたら時間がかかるとは思いますが、半島全体のことを考えてほしいと思います。

市民 電線撤去の整備が予定されており、景観が整うのはとても良いと思います。早い時期に電線の撤去が終了するのでしょうか。

事務局 現在は、電線の中でも横断架空線を撤去する工事を進めています。

市民 少しずつ工事を進めるのもよいが、地元住民からすると、共同溝にしてもらえれば将来につながる地域の資源となると思います。

市民 以前家を建てる際に、道路が広がる予定があるのでセットバックするようにいわれました。色彩の統一などは一気に進むものではありませんが、ガイドラインは大体何年先を見据えて策定するのでしょうか。

川口氏(コーディネーター) ガイドラインの策定、今後の街並みのルール作りに向けては、住民の皆さんの同意がどのくらい得られるかが難しいところです。どの程度のルールであれば協力してもらえるか、話し合いを重ねていく必要があると思います。

市民 お金もかかることなので、皆で知恵を絞って考えていく必要があると思います。

市民 2016年に世界遺産の保全報告書を提出することになっています。三保松原は世界遺産の選定に向けて特別な運動をしていたわけでもなく、突然選定され、知らない住民も多くなります。三保半島で一番考えるべきことは、エントランスをどう作るかということだと思います。塚間の渡し周辺は、現在は工場ばかりで昔の面影はありませんが、以前は船着き場であり三保を訪れる人に対して一番最初に地域を印象付ける場所でもありました。入口の部分こそ、ルールに強制力を持たせてでも力を入れて整備するべきではないでしょうか。また、地元の住民にとっても世界遺産に住んでいるという責任があるので、世界遺産や景観について理解してもらい、

協力してもらえよう取組む必要があると感じます。

天野氏(アドバイザー) 三保松原は綺麗でよいが、アプローチも含めて三保を楽しんでもらう必要があると思います。民地でも少しずつ協力していくことで、よい街並みを作っていくことができます。看板は目立たせることが先立ってしまい、競争合戦になってしまっただけでは意味がありません。また、外から新しく入ってきた人が勝手な建物や看板を作ろうとした時にも、地元のルールがあるからと制限をかけられるようにできれば良いと思います。街並みを「お化粧」するのではなく、「身だしなみ」を整えるという意識が大切だと思います。住民が皆で考えて、少しずつやっていく必要があると思います。

川口氏(コーディネーター) ルールや街並みは一気に作るのではなく、一つ一つ皆で考えていくことが大切だと思います。三保街道が立派でないと、松原の魅力も薄れてしまうという意識で、エントランスづくりにも力を入れていければよいと思います。今後も行政も協力してルールづくりを進めていきますので、住民の皆さんからもこうした場を通して意見をいただきたいと思っています。

市民 すぐできる対応として、トイレをもう少し整備してほしいと思います。トイレの上部を展望台のように整備するのはどうでしょうか。また、神の道は砂が靴に入って歩きにくいという声もあり、整備の方法を考える必要もあると感じます。

事務局 道路保全課では、現在横断架空線の撤去工事を進めています。三保街道を優先的に行っており、平成 28 年 2 月まで続く予定になっています。また、街並みづくりの取組みは 4 月以降も引き続き検討していく予定で、ワークショップやシンポジウムも予定しています。

市民 今日の配布資料のガイドラインの概要版などは、よくまとまっていて分かりやすいので、開催案内や情報をもっと地域住民に回覧してほしいと思います。

事務局 開催案内、開催報告など、住民の皆さんに見ていただけるよう案内方法を考えます。それでは、これで本日の意見交換会を終了します。

以上